

さらに充実の医療 新任常勤医師 紹介

4月1日より、消化器内科で嵯峨 一行医師が診察を開始しています。

この度、新しく千春会病院に着任(平成22年4月1日付)しました、嵯峨一行です。平成11年に京都大学卒業後、京大病院、京都市立病院で内科医として研修し、淀川キリスト教病院にて、消化器内科医として勤務いたしました。

その後、京都大学大学院にて、免疫学の研究に携わる一方、非常勤医師として専門とする内視鏡・腹部超音波検査をはじめ、一般内科外来、内科救急と総合的な内科診療の経験を積んで参りました。

淀川キリスト教病院では、当時医長としてご活躍されていた藤原先生の元で勤務させていただきましたが、縁あって千春会病院に勤めることとなり、再びご一緒に仕事をすることとなりました。

外来・病棟・救急と様々な医療の場における的確な診断と治療、慢性疾患の適切な治療による急性増悪や合併症の予防、内視鏡や画像診断を用いた癌等の治療成績の改善など、これまで私が培ってきた知識・経験・技術を生かし、地域に貢献する千春会病院の一員として頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお申し上げます。

嵯峨 先生 水、木、土曜 9:00~12:30 金曜 18:00~20:00
外来担当



<略歴>

平成11年
京都大学 医学部卒業
京都大学附属病院 内科

平成13年
京都市立病院内科
チーフレジデント

平成14年
淀川キリスト教病院
消化器科

平成17年
京都大学大学院
内科系 消化器内科学

【専門】 内科、消化器内科
【所属学会】 日本内科学会

せんしゅん



ISO9001:2008 認証取得
日本医療機能評価 (Ver.5) 認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会 検索

発行責任者：菊地 孝三

せんしゅん 1 歳時記
火事を出さない！
迫真の消防訓練

千春会病院 3月24日
介護複合施設上植野 4月12日

多くの患者さん・利用者さんが、24時間いらっしゃる病院・施設では、絶対に火災は防がねばなりません。千春会では、病院・各施設ともに、基準以上のスプリンクラー・消火器を設置しており、年に数回の消防訓練を病院・各施設で実施しています。

警報機を鳴らしての迫真の訓練で、初期消火の手順、消防署への連絡や患者様・利用者様の誘導などを確認していきます。介護複合施設上植野では、出来るだけ多くの職員が参加できるように、1日4回の訓練が行われました。

「絶対に火災は発生させない！」常に気持ちを引き締めて、防火に取り組んでいます。



・・・地元のみなさんとともに

せんしゅん 2 歳時記
春満載の旬野菜 「菜の花」

地元の野菜で病院・
介護施設メニューに季節感を

千春会では昨年春より、JA 京都中央乙訓支店を介して、地元の新鮮野菜を病院・介護施設のメニューに取り入れています。

地元長岡京で採れた新鮮野菜を使った春のメニューは「菜の花と桜海老のごはん」。

春の香りと彩りがあふれたメニューは大好評でした。



長岡京で採れた「菜の花」を手に
八谷・谷中・近藤管理栄養士

編集後記

春の光と風がきらめく八条が池(長岡天満宮)。境内の「キリシマツツジ(長岡京市天然記念物)」は有名ですが、池を彩るツツジも見事。生き活きと誇らしげに咲く姿は、勢いに溢れています。推定樹齢130年の「キリシマツツジ」と咲き初めのツツジ。どちらの良さも際立って美しいものです。千春会のフレッシュな新入職員も、先輩のスキルに負けじと「若さ」を強みとしてチャレンジして欲しいと願う、散り初めの私(推定年齢〇歳)です。(弘)

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問いただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL (075)954-2175 FAX (075)955-4615



長岡天満宮 八条が池 付近

理念 (3つの使命)

- 1 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
- 2 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
- 3 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

医療法人社団 千春会

木々の緑に、渡る風が清々しい季節となりました。輝かしい春の訪れにふさわしく、先頃の天皇后陛下、長岡京市視察（3月27日：京都府行幸啓）の折には、当法人代表として、市長はじめとする陣頭の榮譽を賜りました。「地元の方々と共にある千春会」その立場をまさに実感させていただく機会となりましたこと、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、新しい息吹を感じるこの季節、千春会でも来春開設予定の「介護老人保健施設 春風」が竣工に向け、いよいよ本格的に始動しました。

すでに基礎工事の一部、埋蔵文化財の調査など、土台となるべき動きが粛々と進んでおります。近々の地鎮祭などを経て、本格的な工事に着手しますが、コンセプトのある、しっかりとした設計に基づき、大手建設会社による安全・確実な施工にて進行いたします。

地域の方々が、その名の通り「春風」のような優しさを感じ、安心して、よりどころにしているだけのような施設を目指し、着実に進めて参りたいと存じます。

また、今年1月、近藤元治先生を院長として開院した「ハイパーサーミアクリニック」（JR長岡京駅前パンビオ7階）も地元の方々のみならず、全国から患者さまが来院され、治療を受けておられます。年々ガン患者数が増加する中、副作用のほとんどないガンの温熱療法「ハイパーサーミア」

は、「ガン患者さまの治療の一助を担う有力な方法のひとつ」と考えております。

千春会病院でも、4月から新しく内科の常勤医師を迎え、常勤8名としてさらに充実した手厚い医療体制で臨んでおります。また、看護部はじめ、リハビリテーション科、栄養科、放射線科など各部署にも新入職者を迎えました。リハビリテーション科は、この新入職で27名となり、乙訓地域最多のセラピスト数を更新。リハビリの重要性が増す中、皆さまのニーズにお応えできるよう充実を図ってまいります。

このように医師、看護師のみならず、コメディカルを大幅に増員することで、多角的に患者さまを診ていく「チーム医療」をさらに確立させ、医療における万全の体制を整えていきます。

また、さらなる新風といえば、4月1日の法人入社では新卒25名を含めた新入職者30名のフレッシュな力が千春会に加わりました。

若さあふれる新たな力を得て、千春会は今後さらに「良質な医療・看護・介護」を目指し、より一層パワーアップしてまいります。新入職員ともども、今後ともよろしく願い申し上げます。



理事長 菊地 孝三

風新たに 伸びゆく千春会



副院長 糸井 真一

私がこの千春会病院に赴任して、はや6年目となりました。5年前といえば病院の建替え時期にあたり、足場と囲いと仮設プレハブといった状況で、どのような病院になるのかという期待と不安と共に着任しました。

確かに病院が生まれ変わったという事は、大きな変化に感じましたが、思い返せばこの5年間における千春会の変化の中ではごく些細な出来事のように思えてきます。毎年開設される事業所、平成17年の「特別養護老人ホームわらく（和東町）」の開設。続く介護複合施設、認知症デイサービスなどの開設、ハイパーサーミアクリニックの開院など。これらを考えますと、いかに激動の5年間であったかがわかります。

しかし、最大の変化はこのように目に見える変化ではなく、目に見えない変化、つまり「医療の質の向上」でした。「医療の質」を表現することは難しいですが、日本病院機能評価、ISO9001 認証取得な

どの第三者による評価がわかりやすいでしょう。藤原院長が着任し、理事長の指揮のもと「良質な医療、看護、介護を目指す」という理念を職員末端まで浸透させてきた千春会の「医療の質の向上」は、周知のこととなりました。

5年前といえば診療報酬の切り下げが続き、その後の医療崩壊と呼ばれる時代に続きます。医療界にとって時代は決して順風とはいえませんでした。千春会は「良質な医療、看護、介護を目指し」地道に努力をすることにより、常に進歩しています。その一つ、今年1月に近藤元治先生をお迎えしてハイパーサーミアクリニックを開設しました。がんは熱に弱いという特性を利用したがん治療の新しい戦略です。同時に「在宅支援診療所」も併せて開設し、より質の高い在宅医療を行なえるようになりました。つまり24時間365日対応の在宅医療です。

これからの医療で在宅医療のニーズが高まるのは確実です。「良質な病院」の次は「良質な在宅医療」を当面の目標として、さらなる発展を目指したいと考えております。今後とも伸びゆく千春会をよろしく願い申し上げます。

ご報告

総評「最上級の評価」を獲得 ISO9001:2008

本年もISOサーベイランス審査を受審 1月28日

「良質な医療・看護・介護」をめざし、今年もISOサーベイランス審査を受審しました。サーベーターからは「年々、千春会のレベルが向上しており、最上級の評価といえます。」との総評をいただきました。

今年、一昨年開設したデイサービスセンター風車も初めて審査を受審し、追加認証が決定しました。千春会病院をはじめ、全事業所がこの外部審査を受審しています。法人職員全員が、法人理念である「良質な医療・看護・介護」を目指して、日々の業務を見直すことで質の向上を図っています。

また、外部審査のみならず、内部監査員による内部での取り組みもなされ、様々な角度から業務の見直しや改善を繰り返していくといった、地道な努力を続けています。



お知らせ

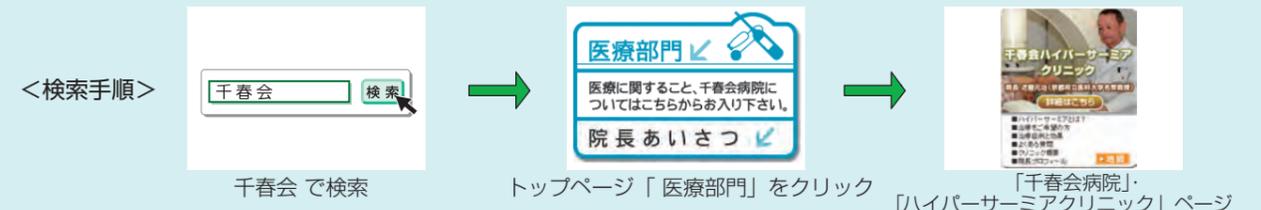
「ハイパーサーミアクリニック」(ガンの温熱療法) ホームページ開設

身体にやさしい
副作用のない
治療法

千春会 ホームページに

「ハイパーサーミアクリニック(本年1月開院) 近藤元治院長(京都府立医科大学名誉教授)」のホームページが新しく開設されました。

ハイパーサーミアでの効果症例、よくある質問の回答(Q&A)、ハイパーサーミアについて、より詳細なご説明をさせていただいております。下記の手順で、ぜひ、ご覧ください。



平成22年千春会 入社式 開催

フレッシュ & パワーアップ

春を迎え、新卒者25名(高校・専門学校・短期大学・大学卒)を含む総勢30名の入社式を開催しました。

まず、菊地理事長からは法人一丸となって真剣に取り組んでいる「理念」について。野球のバッティングを例に「全力で挑戦すること」、「職場規律、快適で仕事に専念できる職場について」などを含めての挨拶がありました。藤原院長からは「プロとして冷静さと温かさをもって努め、新しい事を学べるチャンスと考えて楽しく仕事を。」との話。

介護部寺山部長・管理部岡田部長からは医療と介護の連携、今後の事業展開などについて話がありました。

その後、オリエンテーションを行い、法人全体の入社式を終了しました。

千春会の新しい職員を、どうぞよろしく願い申し上げます。

入社式 4月1日

新入職者紹介



栄養科



放射線科

責任者
スタッフと
ともに



理事長・院長を囲んで



介護部



リハビリテーション科

在宅介護支援事業所 開田	デイケアセンター
在宅介護支援事業所 上植野	デイサービスセンター友岡
訪問介護センター開田	デイサービスセンター滝ノ町
訪問介護センター上植野	デイサービスセンター上植野
訪問介護センターみなせ	デイサービスセンター風車
	ショートステイ上植野

ここに響く介護があります 介護部門からのお知らせ

千春会では、介護の必要な方に適したさまざまな介護サービスを提供しております。お気軽にご相談ください。

ホームヘルプ事業部 フリーダイヤル 0120-21-8599

デイサービス 活動報告!!

- 友岡
- 上植野
- 風車

皆さんの笑顔が見たいから!

「利用者さんに喜んでいただきたい。」「行事やイベントで、少しでも楽しんでいただきたい。」そんな思いから、スタッフでさまざまな企画を考えています。春は「お花見」(友岡・上植野・風車)を企画。デイサービスセンター風車に密着し、実施までの流れもあわせてご報告します。

< DS風車・常勤ミーティング >

責任者とお花見の詳細をつめます。お花見メンバー、配車など確認。雨天の場合の行き先、敷物、イス、寒い場合の防寒毛布・膝かけなど準備物の確認。おやつの内容、お茶、紙コップの段取り…。午後出発メンバーが何をするかなど、いろいろな確認事項を話し合っていていきます。

< DS風車・全体ミーティング >

全体行事などを伝達。4月行事は外出行事としてお花見を企画していますので、場所・時間・おおまかな内容などを伝達・確認していきます。

4月7日 お花見当日

今日は、楽しみにしておられたお花見です。風車では利用者さんがしっかり着こんで出発です。午後から出発予定の方は、いつも通り、ゲーム、塗り絵、洗濯物たたみなど、お一人お一人がされたい事をしていただきます。

日時：4月7日・8日 午前・午後2回
行き先：ポリテクセンターを経由、向日市噴水公園付近
内容：お花見(お茶・おやつ) デイサービス上植野、デイサービス友岡の利用者さんと現地で合流

ポリテクセンター到着

デイサービスセンター上植野と友岡の利用者さんも到着。みんなで桜の木の下へ。イスに座って、満開の桜を堪能します。寒いので、準備した膝かけや上着でしっかり防寒。暖かいお茶が配られ、おやつを頂けばお花見気分も盛り上がり。きれいな桜の下でお一人づつ写真撮影も。引き続き、向日市の噴水公園の桜を車窓から見て、お花見行事午前の部を終了。午後メンバーも、昼食後に同様のコースでお花見をしました。



< 終了ミーティングで反省会 >

安全で楽しく過ごしていただけるよう、さらに意見を出し合っ、企画づくりに活かしていきます。

検査のお話・4

肺機能検査と肺年齢



検査科主任 中川臨床検査技師

息切れがする・呼吸が苦しい・咳が出る・痰が出るなど、肺の病気の診断や治療効果の判定には「肺機能検査」が用いられます。スパイロメーターという機械を使って、深く息を吸い込んだ後に勢いよく吐き出して、肺の容積や換気機能のレベルを調べます。肺活量の検査といえば馴染み深いかもしれせんね。

近年、一般の方にも検査結果を分かり易くする目的で、人間ドックや健診などで肺年齢を表示するようになりました。肺年齢とは、肺いっぱい息を吸い込んだあと、1秒間に吐ける息の量(1秒量)が標準に比べてどの程度であるか理解してもらったための指標で、年齢・性別・身長と合わせて算出します(日本呼吸器学会より)。

肺年齢は、20代をピークに加齢とともに低下する呼吸機能や、喫煙による気管支や肺胞の慢性的な炎症、自覚症状がまだない初期のCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の早期発見など、見た目では分からない肺の健康を知るヒントになります。

当院でも昨年から肺機能検査において肺年齢を表示するようになりました。「肺活量は昔から自信があるけど、肺年齢を算出すると予想外に…」という方も少なくありません。

ご自分の肺の健康を知るために「肺年齢」を活用していただけたらと思います。



スパイロメーター



さいのうち医院
長岡京市神足 1-10-6
TEL(075)955-6850

「さいのうち医院」紹介の巻 患者さんに寄り添った医療を...

今回は千春会病院に近い「さいのうち医院」の齊ノ内良平院長です。訪問診療で、午後はほとんど外出のお忙しい先生ですが、気負うところのない優しい口調で地域医療への取り組みをお話してくださいました。

●地元で開業されたきっかけを教えてください

齊ノ内院長 昭和58年国立滋賀医科大学を卒業し、平成1年に同大学院で医学博士を取得しました。大学卒業後は研究生活を経験し、病院では外科医として手術や一般的な外来も担当する中、自分は「町医者のな開業医として身近な地域医療に携わることが向いているのではないか」と考え開業しました。現在、医院が建つ場所は、昔、祖父が歯科医師として開業していたところだ。



●地域医療の魅力とは?

齊ノ内院長 地域医療では、やはり直接、患者さんの笑顔も見られるし、辛い姿も見ると、直に接することで「患者さんを診る」というより「人間が見える、人間を診る」というところが心に響きました。

●訪問診療にも力を入れておられますが

齊ノ内院長 月曜から土曜まで、午後からは訪問や往診のない日はありません。1日10件以上の日もあり、日曜も急な往診がありますので24時間診ています(笑)。

●乙訓地域は在宅医療が充実していると聞かれています

齊ノ内院長 私も、親しい開業医5人で「チームドクター5(ファイブ)」という連携チームを結成してね(笑)。お互いに協力しあって、地域医療を実践しています。乙訓地域は、医師会の諸先輩が全国的にも先駆けとなつてこられ、行政や保健所などにも理解があり、病診連携や訪問看護、ケアマネなどの対応も含めて全体的に在宅診療の基盤が上手くできているのではないのでしょうか。

●千春会に期待される事はありますか

齊ノ内院長 病診連携は今後益々の必要性を感じます。在宅診療には後送病院が必要です。どうしても入院が必要なケースがあっても、受け入れ病院の確保が難しいのです。千春会病院さんは、いつもお願いするとスムーズに受け入れてもらえるので安心です。入院施設をもたない開業医にとっては、検査や急な入院ができる後送病院的な役割を持って頂けており頼もしいです。



また、短期間の入所ができる施設も不足していますので、千春会さんがされる

●先生の診察スタイルは

齊ノ内院長 患者さんが何を欲しておられるか、出来る限り患者さんの気持ち、想いに添った医療を考えて治療にあたっています。私は、ケアマネジャーの資格も持っていますので、在宅の相談などにも少しは関わっています。私も体力の続く限り、外来と訪問診療を今の状態で守りたいと思います。



●最近凝っておられるのがカメラ

齊ノ内院長 趣味といえるかどうか、カメラはまだ4年位ですが、テニスも、週1~2回健康管理も含め続けています。カメラを持って、もっと山登りにも行ってみたいですね。

院内のカレンダーには赤字で訪問診療先の時間、青字で医師会理事の行事などがびっしり。穏やかな笑顔で地域医療に尽力される院長の忙しい毎日が目に浮かびます。

地域密着

インタビュー